

さらぬく子ら



幕別町立幕別小学校 学校だより 第7号 令和5年10月27日

校長 森

浩 嘉

真の「成功体験」を

古代ギリシアの哲学者にタレスという人がいました。タレスは、影の長さを利用して初めてピラミッドの高さを測ったと言われている数学者でもあります。そのタレスには様々な逸話がありますが、その一つに、鉱山の労働者から助けを求められた次のような話があります。

岩塩鉱から塩を掘り出した労働者は、塩を袋に詰めてロバの背中に乗せて運んでいた。その途中、浅い川を渡っていたところでロバが転倒した。背中に乗せていた塩の大半が水に溶けて軽くなったため、その日、ロバは残りの道中が楽になった。

その日以降、ロバは川で転び続け、楽することを覚えた。困った鉱山の労働者から助けを求められたタレスは、数日間、ロバの様子を観察し、ロバのねらいを理解した。

翌日、ロバの背中の袋には塩ではなく、海綿（スポンジのようなもの）が入れられた。これまでと同じようにロバは川でわざと転倒すると、海綿が水を吸い、その日は転倒する前よりもずっと重くなった。何日か海綿を運ばせることで、ロバは川で転倒することがなくなり、元どおり塩を運べるようになった。

私たち人間も楽をしたい生き物です。ですから楽な方法を一度経験すると、次も楽をしたくなります。そのことは、頭を使って考え工夫することでもあるので、決して悪いことではないのですが、それが「ズル」となればその代償を伴うこともあります。

楽をしたいと考えるのは子どもも同じです。そのようなとき、大抵はタレスのように周りの大人がそのねらいを理解し、一時の楽による代償を説明することによって、子どもは間違った成功体験をせずに済みます。しかし、間違った成功体験を味わった子どもは、次もその追体験をしようとするはずで

す。頑張ったり、努力したり、その結果として失敗したりしたことは、その後の自分の糧になります。そして、成功体験の積み重ねは、自己肯定感につながると言われています。一方で、「ズル」のような間違った成功体験の積み重ねによる代償には気づきにくいものです。だからこそ「理由」をしっかりと説明し、子どもが間違った成功体験をせずに済むようにすることが、子どもの周りにいる大人の役割だと思えます。

明日は学習発表会です。どの学年も、これまでの学習や練習の成果を発表します。一人一人の子どもが、頑張ったり、努力したり、失敗したりしながら、学年の子どもたちと協力し合い、カバーし合いながら積み上げてきた発表です。

ぜひ、全ての子どもが満足感や達成感、充実感を味わい、真の成功体験として認識できるよう、明日は多くの皆様のご観覧と発表後の大きな拍手をよろしくお願ひします。

※ 5学年の発表は、11月1日に延期させていただきます。

教育活動スナップ 中学生との協働的な学び

まくべつ学園として、ふるさと学習やキャリア教育等を通じて9年間を見通した教育活動を進めています。その一環として3年生は、「総合的な学習の時間」に「幕別町の特産品」をテーマとして追究し、産業や文化について考えています。また、幕別中学校の1年生は、地域のよさに目を向け、町の特産品を生かした給食のメニューづくりを進めています。その2つの学年が先月末に、中学校の校舎で一緒に活動する場面がありました。



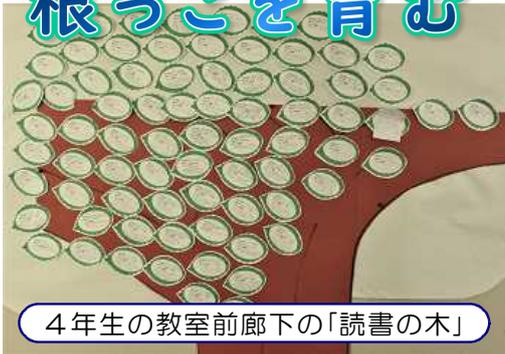
「ごぼうを食べると美肌になるよ〜」



「これおいしいよ」「中学生すごいね」

中1の生徒に招かれ、やや緊張気味の3年生は、ごぼう・ジャガイモ・長ネギ・ソーセージ・ドロブタなどの特産品を取り入れた5品のメニューを試食しました。3年生は、中学生からたくさんの声をかけられながら、「おいしい!」「これ最高!」などと感想を伝えながら試食していました。試食後は一人ずつタブレットでアンケートに回答し、中学生との一緒にの活動で、あらためて町の特産品を実感する機会になりました。

根っこを育む



4年生の教室前廊下の「読書の木」

学校では、子どもたちの意欲を高めるために活動の様子を「見える化」するなど、様々な工夫をしていますが、その一つに写真のような「木」をデザインしたものがしばしば見られます。左は4年生が読書の記録として、一言感想を書いた葉のカードを貼っています。右は1年生が家族に向けた感謝の言葉をリンゴのカードに書き込んで貼っているものです。「動機付け」「意識付け」を図るとともに、「頭も心も体も元気」な子どもたちの「根っこを育む」ことに全学年で取り組んでいます。

学校では、子どもたちの意欲を高めるために活動の様子を「見える化」するなど、様々な工夫をしていますが、その一つに写真のような「木」をデザインしたものがしばしば見られます。

左は4年生が読書の記録として、一言感想を書いた葉のカードを貼っています。右は1年生が家族に向けた感謝の言葉をリンゴのカードに書き込んで貼っているものです。



1年生の「家族へのメッセージ」がリンゴに

後期児童会のリーダーとして

書記
谷山 心緒さん

書記
熊田 莉羽さん



会長
佐藤 充絆さん

副会長
井上 末実さん

副会長
新岡 陽希さん

今月10日に役員認証式と総会が行われ、先月末の役員選挙で選ばれた左の5人を中心として、後期の活動が本格的に始まりました。その5人の抱負を紹介します。

- ◆佐藤さん～6年生がしっかりと下級生を引っ張れるように、進んで活動に取り組む。
- ◆井上さん～3回目の児童会役員なので、これまでの活動を生かしてよりよい学校にしていきたい。
- ◆新岡さん～自分からたくさんあいさつをして、もっとあいさつしてくれる学校にしたい。
- ◆谷山さん～全校のみんなが楽しく学校に通えるように、レクをたくさん考えたい。
- ◆熊田さん～みんながあいさつをできるように、自分がいっぱいあいさつをしていく。

＝ きらめく子ら ＝ 活躍の足跡

第45回 幕別町陸上競技選手権大会 (9/10)

2年男子 80m	18"74	第5位	川端 凌太さん
3年男子100m	27"09	第6位	戸田 弥之助さん
6年男子100m	14"84	第2位	本保 煌希さん
6年女子100m	15"76	第2位	中塚 こはるさん
6年男子 80mH	14"05	第1位	有馬 湊さん
//	15"32	第3位	松田 壮一朗さん
2年女子400m	95"95	第2位	有馬 凧咲さん
6年男子1500m	5' 42" 95	第1位	谷地田 翔さん
6年女子走幅跳	4m00	第1位	谷山 心緒さん
//	3m92	第2位	茂木 麗奈さん
//	3m63	第5位	横山 万緒さん
4年女子シバリュウグワ-ル般	21m25	第1位	谷地田 楓花さん
//	18m60	第2位	谷地田 凧花さん
5年男子シバリュウグワ-ル般	33m48	第1位	横山 友之さん



茂木 麗奈さん

横山 万緒さん

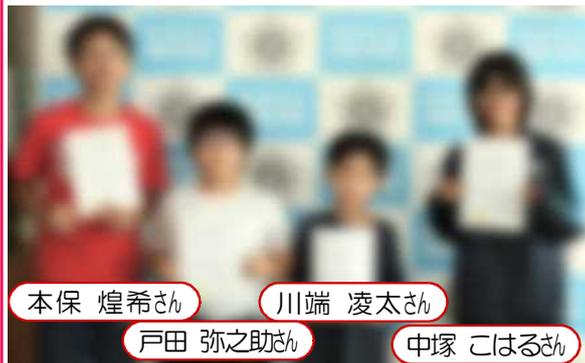
谷山 心緒さん



谷地田 凧花さん

横山 友之さん

谷地田 楓花さん

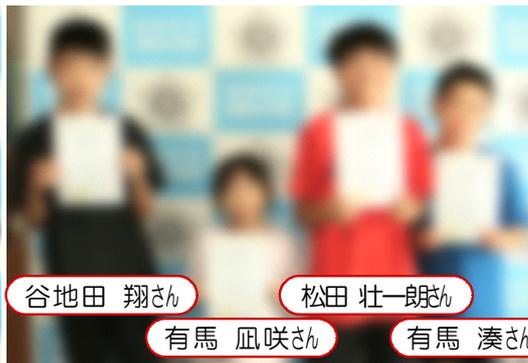


本保 煌希さん

川端 凌太さん

戸田 弥之助さん

中塚 こはるさん



谷地田 翔さん

松田 壮一朗さん

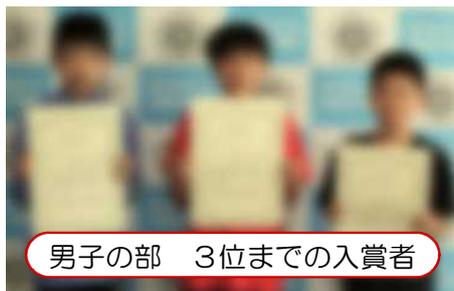
有馬 凧咲さん

有馬 湊さん

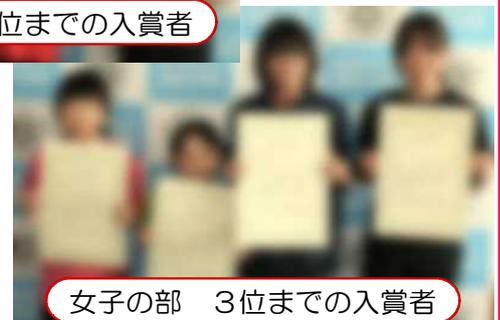
有馬 凧咲さんは、5種目の混成競技で競われるキッズデカスロン新得2023(9/24)低学年女子の部で第2位になっています。

第10回 まくべつマラソン大会 (10/7)

2年男子 1km	5' 23" 10	第9位	川端 凌太さん
2年女子 1km	4' 51" 51	第1位	有馬 凧咲さん
3年男子 2km	15' 18" 00	第4位	戸田 弥之助さん
4年女子 2km	10' 38" 48	第3位	谷地田 楓花さん
//	11' 10" 10	第4位	谷地田 凧花さん
5年男子 3km	14' 50" 67	第2位	横山 友之さん
6年男子 3km	12' 50" 92	第2位	松田 壮一朗さん
//	12' 55" 77	第3位	谷地田 翔さん
//	14' 29" 04	第5位	古田 龍ノ介さん
6年女子 3km	12' 54" 45	第1位	中塚 こはるさん
//	13' 39" 79	第2位	谷山 心緒さん



男子の部 3位までの入賞者



女子の部 3位までの入賞者



第26回 全十勝おとふけすすらん駅伝大会 (10/15)

高学年 男子の部 第2位 幕別陸上少年団A

写真の右から順に、それぞれが2.3kmを走り、たすきをつなぎました。

11月の行事予定

日	曜	おもな行事予定	給食	バス	
				朝	下校
1	水	小中合同あいさつ運動の日 視力検査(4・6年) 職員会議	◎	○	14:40 15:50
2	木	視力検査(3・5年)	◎	○	14:40 15:50
3	金	文化の日			
4	土				
5	日				
6	月	CIR 視力検査(1年) スクールカウンセラー来校	◎	○	14:40 15:50
7	火	児童会	◎	○	14:40 15:50
8	水	学校芸術鑑賞	◎	○	15:50
9	木		◎	○	14:40 15:50
10	金	CIR 研修会議 町P連教育懇談会 18:00～	◎	○	14:40 15:50
11	土				
12	日	5学年PTAレク 10:00～			
13	月	ハイパーQ U検査(3・5年) 英検ESG(6年)	◎	○	14:40 15:50
14	火	租税教室(6年)	◎	○	14:40 15:50
15	水	小中合同あいさつ運動の日	◎	○	14:40 15:50
16	木		◎	○	14:40 15:50
17	金	CIR	◎	○	14:40 15:50
18	土				
19	日	3学年PTAレク 10:00～			
20	月	まくべつ教育の日 CIR	◎	○	14:40 15:50
21	火	児童会 PTA役員会 19:00～	◎	○	14:40 15:50
22	水	スワディ号	◎	○	14:40 15:50
23	木	勤労感謝の日			
24	金	CIR まくべつ学園小中合同研修会	◎	○	14:40
25	土	4学年PTAレク 10:00～			
26	日	2学年PTAレク			
27	月		◎	○	14:40 15:50
28	火	J A 青年部による食育(3年)	◎	○	14:40 15:50
29	水		◎	○	14:40 15:50
30	木		◎	○	14:40 15:50

※発行日現在の予定ですので、変わることもあります。

お願い

夕暮れが早まっています
夕方4時になると暗くなり始め、5時にはライトなしでは運転できない季節になりました。

今一度、「暗くなる前に家に帰る」ことをお子さんと確認してください。また、やむを得ず、薄暗くなってから自転車に乗る場合は、必ず自転車のライトを点灯するという約束をお子さんと確認してください。

どちらも自分の身を守るために、自分でできるようにしたい行動です。私たち大人も、交通事故が多発する薄暮時をはじめ、ハンドルを握るときは、常に交通安全を心がけましょう。

インフル注意

本校も今週、3・5学年で3割以上の児童が欠席したため、3日間の学年閉鎖にしました。

町内の他の小学校でも学級・学年閉鎖がありました(管内ではコロナでの閉鎖もありました)。

一番の対策はこまめな手洗いのおようです。今後も家族で予防を続け、体力や免疫力も高めていきましょう。

お知らせ

〔5学年の学習発表会〕

学年閉鎖により、5学年の学習発表会を11月1日(水)に延期する判断をしました。急な変更で保護者・ご家族の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたします。

26日の閉鎖明けに練習を再開した5学年の発表は、13時からです。平日となりましたが、大勢の保護者・ご家族の皆様のご来校をお待ちしております。

幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について

9月26日（火）に、町教育委員会による『「幕別中学校を活用した義務教育学校（案）」～今後の「まくべつ学園」のあり方～に関する地域説明会』が町民会館大集会室で開催され、60名の保護者や地域住民、教職員等が参加されました。

以下は、地域説明会で出た代表的なご質問への教育委員会からの回答と主なご意見を掲載いたします。

＜主なご質問と回答＞

(1) 保護者アンケート結果を素直に見ると、義務教育学校を望んでいない保護者もいるように思うが、どうして義務教育学校の方向性で進めるという判断になったのか？

【回答】⇒アンケート結果で義務教育学校が一番多かったことに加えて、義務教育学校になることによって、現在行っている乗入授業に係る移動や連絡調整がやりやすくなると思います。また、9年間で一貫して児童生徒の個性に応じたきめ細かで丁寧な生徒指導が可能になることや学校行事などを通じた異学年交流による精神的な発達や社会性の育成の効果が期待されるなどのメリットを強く考え、教育委員会として方向性を示したところです。

(2) 今後の方向性を決める中で、子ども達の意見を拾い上げるために、子ども達へのアンケートを実施する予定はあるか？また、少年団と部活動ではルールも使う道具も変わってくると思うが、同じ場所で教えることになるとどのような方法になるか？

【回答】⇒方向性が固まった段階で子ども達の意見を聞く場を設けたいと考えています。アンケートの形になるかわかりませんが、丁寧に説明して進めていく予定です。また、学年が違いすぎると危険もあると思いますが、帯広市の大空学園では1～4年生が少年団、5年生から部活動として行われている例もあります。部活動の地域移行の件については、違う機会に皆さんにご相談させていただきます。

(3) 義務教育学校への移行期間を検討しているか？特に中等部は先生も子どもも混乱すると思う。また、幕別小学校の校舎は今後どうなるか？

【回答】⇒義務教育学校への移行期間は、このまま方針が固まれば、今年度中に協議会を設置して校名や校歌、校章、増改築の内容を検討していきます。最速で令和8年4月開校で進められないか検討しているので、教職員の準備期間も設けられると考えております。この方針が確定して中学校を活用した義務教育学校となれば、その後、小学校跡地の利活用について協議していきます。

＜主なご意見＞

(1) 今後の意見集約の場が弱いと感じた。町民全員が協議会に入ることは出来ないので、協議会で出た意見などを詳細に情報発信して欲しい。そして、情報発信だけでなく、町民から意見を吸い上げる形も考えて欲しい。

(2) 義務教育学校に変わった初年度は良いと思うが、数年経過したときにみんなが思っていた方向と違う方向に進む可能性があるなので、検証精査の機能を発揮して欲しい。

＜菅野教育長からのまとめ＞

多くの貴重なご意見をいただき大変ありがたい。

義務教育学校のメリット・デメリットを考えた場合、メリットの方が相当程度大きいと考えており、デメリットは具体的な運営方法によって軽減できると考えております。

今後は義務教育学校へ移行する方向性で進めていきたいと思いますが、進める中では、子どものことを一番に考えてまいります。

今後も継続して保護者や地域住民への情報提供に努めてまいります。